

暮らしの人類学

10月10日(木)～平成26年2月6日(木) 17:50より19:20まで

山口県立大学 本館 3階 安溪研究室

いまほど「あたりまえの暮らし」が脅かされている時はありません。安心して平和に暮らせる生き方の根っこを、ここ、やまぐちから再発見してみませんか。

講師の実践とそこで出会った人々との絆、さらに山口県ゆかりの先人の活躍も学ぶゼミ形式の授業です。

回	月 日	講 義 テ ー マ
1	10月10日	序論・なぜいまここで「わたしの暮らし」を問うのか ～やまぐちからの発想と実践
2	10月17日	わが家が田んぼを作り始めたわけ ～耕す大学教員・津野幸人の学問・生活・意見
3	10月24日	人と人をつなぐ「有機の星座」づくり ～山口環境保全型農業推進研究会の取り組み
4	10月31日	やまぐちの自然は日本一 ～田んぼの生きもの調査から見える人里の環境の豊かさ
5	11月14日	阿武町の木で建てた200年もつ住まい ～山口市仁保の宮大工の匠の技と教え
6	11月21日	800年の伝承を生きる ～東大寺を再建した俊乗房重源と徳地づくり達人塾の歩み
7	11月28日	大平山は厳然と ～防府市富海を舞台にその観光活性化に取り組む人々とともに
8	12月5日	下関市土井ヶ浜と綾羅木郷遺跡を守る ～台湾と山口を愛した國分直一の人と学問
9	12月12日	幕末の海防僧・月性（柳井市遠崎）とその弟子達 ～大洲鉄然と香川葆晃の働き
10	12月19日	鉱毒・水俣・福島の被害者とともに ～田中正造と徳地の真宗僧・島地黙雷の関わり
11	平.26年1月9日	調査されるという迷惑 ～「周防大島の百姓」と自称した民俗学者・宮本常一の自省
12	1月16日	奇跡の海に学び生物多様性を守る ～高木仁三郎と「上関の自然を守る会」の活動
13	1月23日	エコノミー・エコロジー・エントロピー ～玉野井芳郎（柳井市出身）と地域主義の思想
14	1月30日	今なにが必要なのか、何ができるのか（1）受講生によるゼミ形式の発表
15	2月6日	今なにが必要なのか、何ができるのか（2）発表のつづき【補講（10月3日の代講）】

◆ 部分受講もできます。

◆ 13回以上受講された方には、「山口県立大学公開授業受講修了証書」を授与いたします。

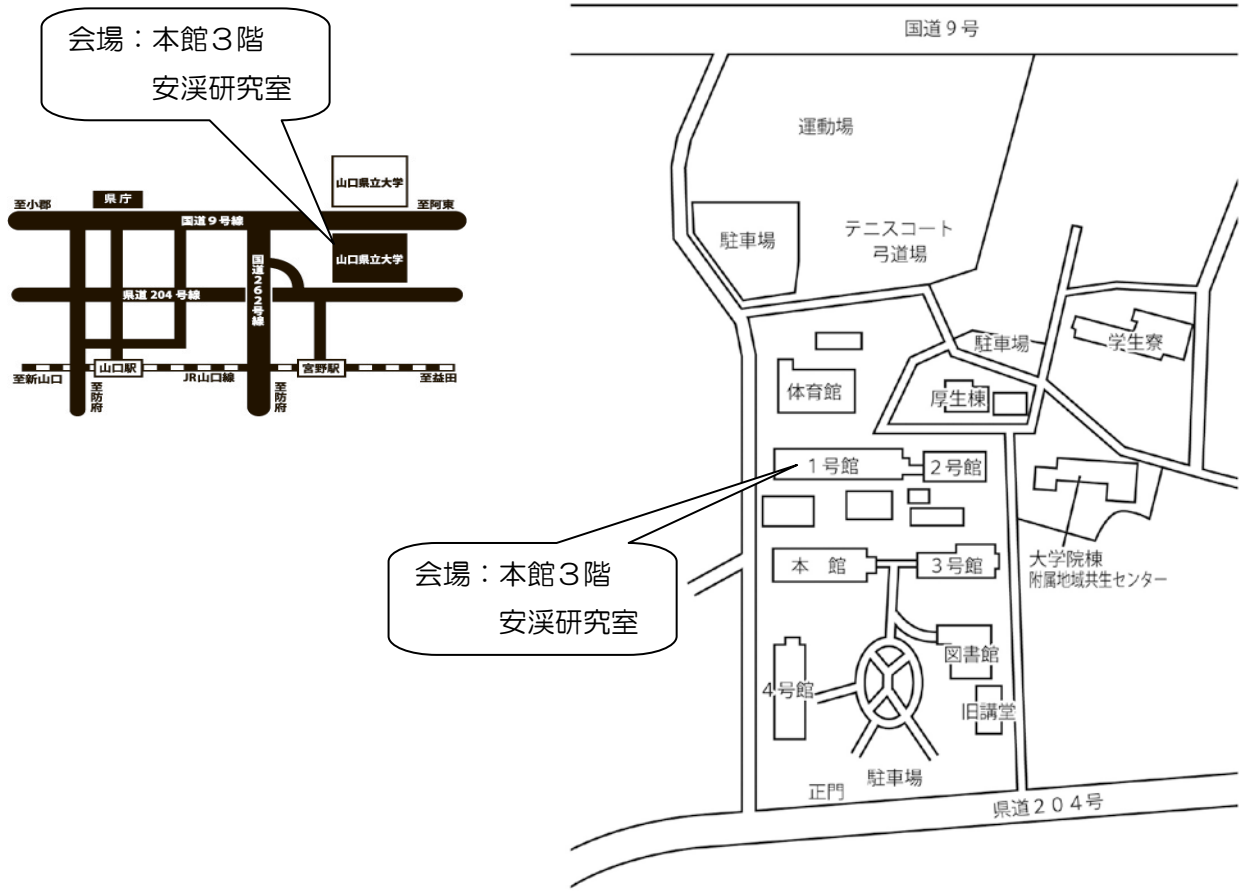
受講料 各回500円（10回以上5,000円）

お申し込み・問い合わせ 電話、FAXまたはハガキで、下記にお申し込みください。

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門

電話/FAX 083-928-3495 〒753-8502 山口市桜畠3丁目2-1

会場地図



◆◇平成 25 年度 山口県立大学後期公開授業「暮らしの人類学」 受講申込書 ◇◆

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門 宛

TEL/FAX 083-928-3495

<p>(ふりがな) お名前</p>	
<p>ご住所</p>	〒
<p>電話/ FAX 番号</p>	